

(社)東京電業協会 第56回野球大会

東西強豪の決戦で近電工に凱歌

(社)東京電業協会主催の恒例の野球大会は、5月6日(金)から9日(月)までの4日間、明治神宮外苑軟式球場で開催された。(組合わせ表次頁)

第1日目は快晴に恵まれ、前年度優勝の三英電業(株)阿部好宏選手による選手宣誓、松本会長による始球式で開会。2日目は16時近くから雨となったが、予定どおり試合を続行。3日目は、また快晴となったが、グラウンドコンディションの回復を待って2時間遅れの10時開始、全試合を予定どおり消化し、最終日10時30分より関電工・近電工による決勝戦が行われ、熱戦の結果、2対1で3シーズンぶりに近電工が優勝

し、関電工は準優勝となった。

また、本大会の最優秀選手賞、敢闘賞は次の選手が受賞した。

最優秀選手賞 本多 旬投手(近電工)

敢闘賞 河野利幸外野手(関電工)

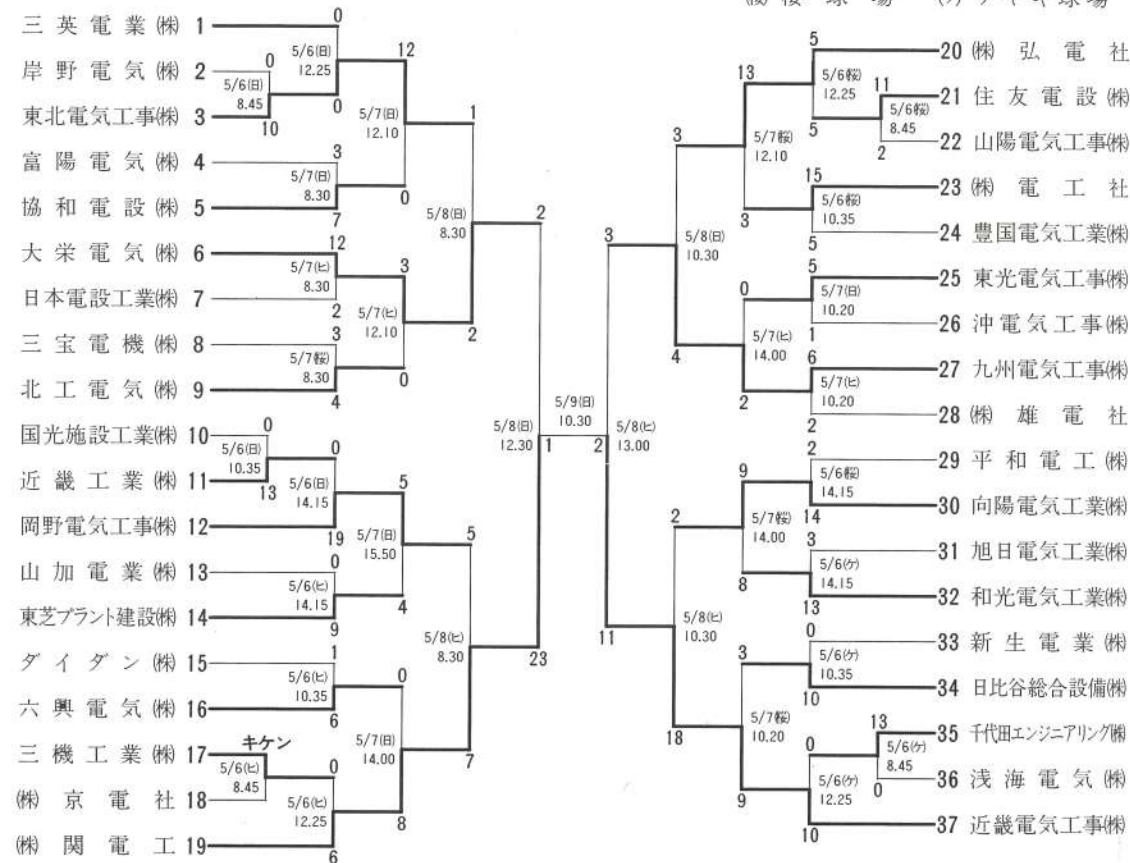
なお、九電工、大栄電気の第3位進出は初めてであり、東北電気工事は初出場であった。

決勝戦

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
近電工	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
関電工	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

組合わせ表

[球場名] (日) 日の丸球場 (ヒ) ヒマラヤ球場
(桜) 桜球場 (ケ) ケヤキ球場



選手宣誓

優勝旗授与



始球式

優勝した近畿電気工事ナイン

